

令和4年度 市町村教育委員会教育長・教育委員研修会

学校・家庭・地域の連携協力 推進事業について

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～



沖縄県教育庁生涯学習振興課

生涯学習班

班長 西表 りか

『地域と共にある学校づくり』と 『学校を核とした地域づくり』の実現に向けて

◆なぜ今、**コミュニティ・スクール** と **地域学校協働活動** が必要なのか？

学校教育 + **社会教育**

背景 時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化

◆教育環境を取り巻く状況

- 児童生徒数の減少
- 子供の規範意識等への課題
- 学校が抱える課題の複雑化・困難化

◆社会の動向

- 少子高齢化の進行
- グローバル化や情報化の進展
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下

◆教育改革の動き

- 「社会に開かれた教育課程」の実現など

◆地方創生の動き

- 学校を核とした地域の活性化

求められるものとは・・・

- ◆これからの時代を生き抜く力の育成（学校だけでは得られない知識・経験・能力）
- ◆地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換

参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

『地域と共にある学校づくり』と 『学校を核とした地域づくり』の実現に向けて

学校と地域の連携・協働が必要

具体的な取組として…

コミュニティ・スクール



地域学校協働活動

学校教育

「目標」や「ビジョン」
の共有

社会教育

一体的な推進

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現！

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会を設置した学校

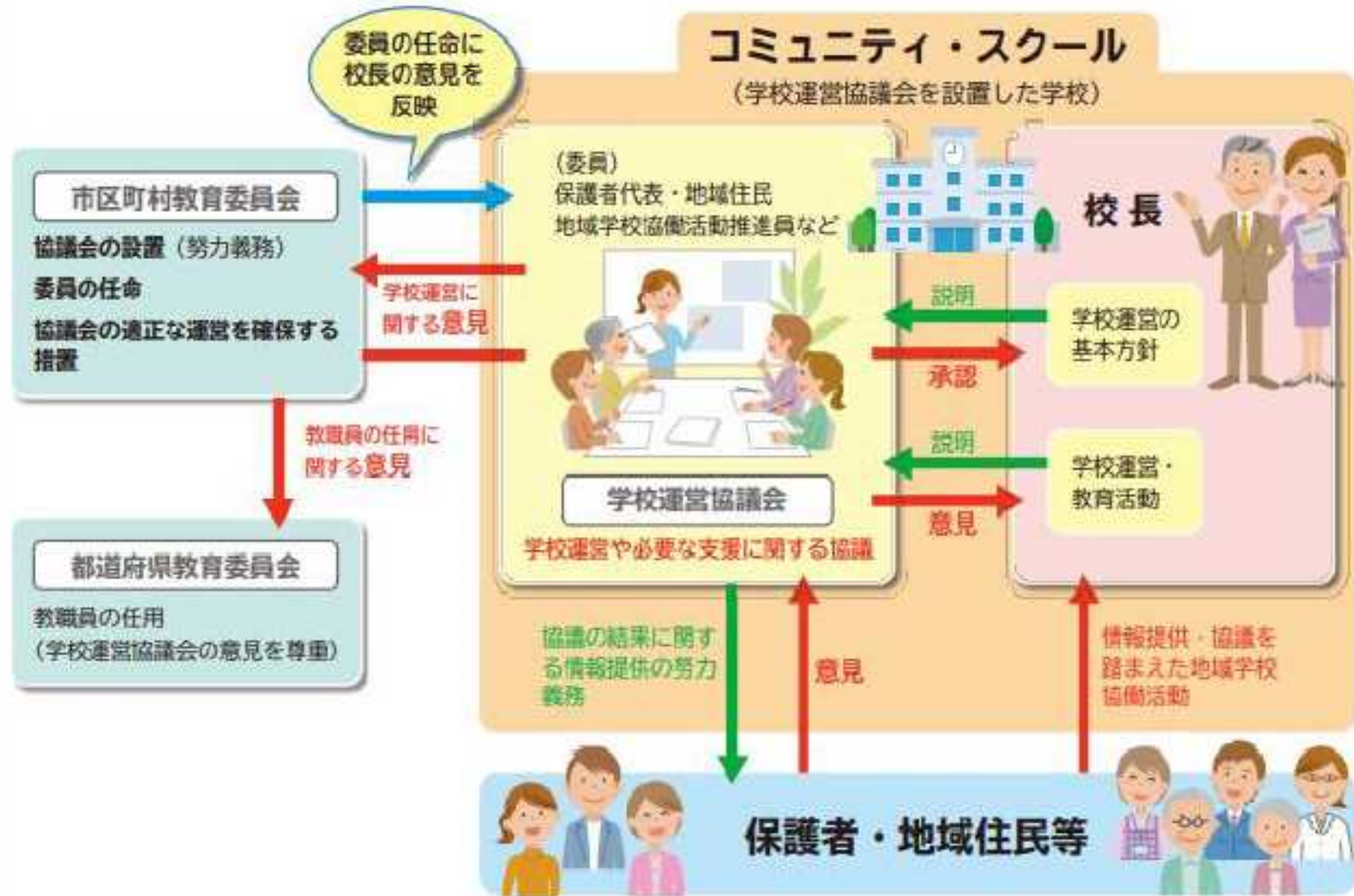
学校運営協議会とは・・・

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

学校運営協議会の主な3つの役割 (地教育法第47条の6) ※令和2年4月～(第47条の5)

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

コミュニティ・スクール (学校運営協議会を設置した学校) の仕組み



地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、
地域全体で子ども達の学びや成長を支える

学校を核とした地域づくり

学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働
して行う様々な活動です



地域学校協働活動推進員の配置

「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターです。

「地域学校協働活動推進員」として法律に位置付けられた明確な立ち位置で地域学校協働活動を推進することにより、継続的で円滑な活動を行うことができます。



主な役割

- 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整
- 地域ボランティアの募集・確保など



参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動は、社会教育法第5条第2項により、学校と協働して行う活動と規定されています。

学びによるまちづくり 地域課題解決型学習・郷土学習

- 地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- 「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- 地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



放課後子供教室

- 地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

- 全ての児童生徒を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



地域学校協働活動とは

家庭教育支援活動

- 寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくりなど



学校に対する多様な協力活動

- 登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供 など

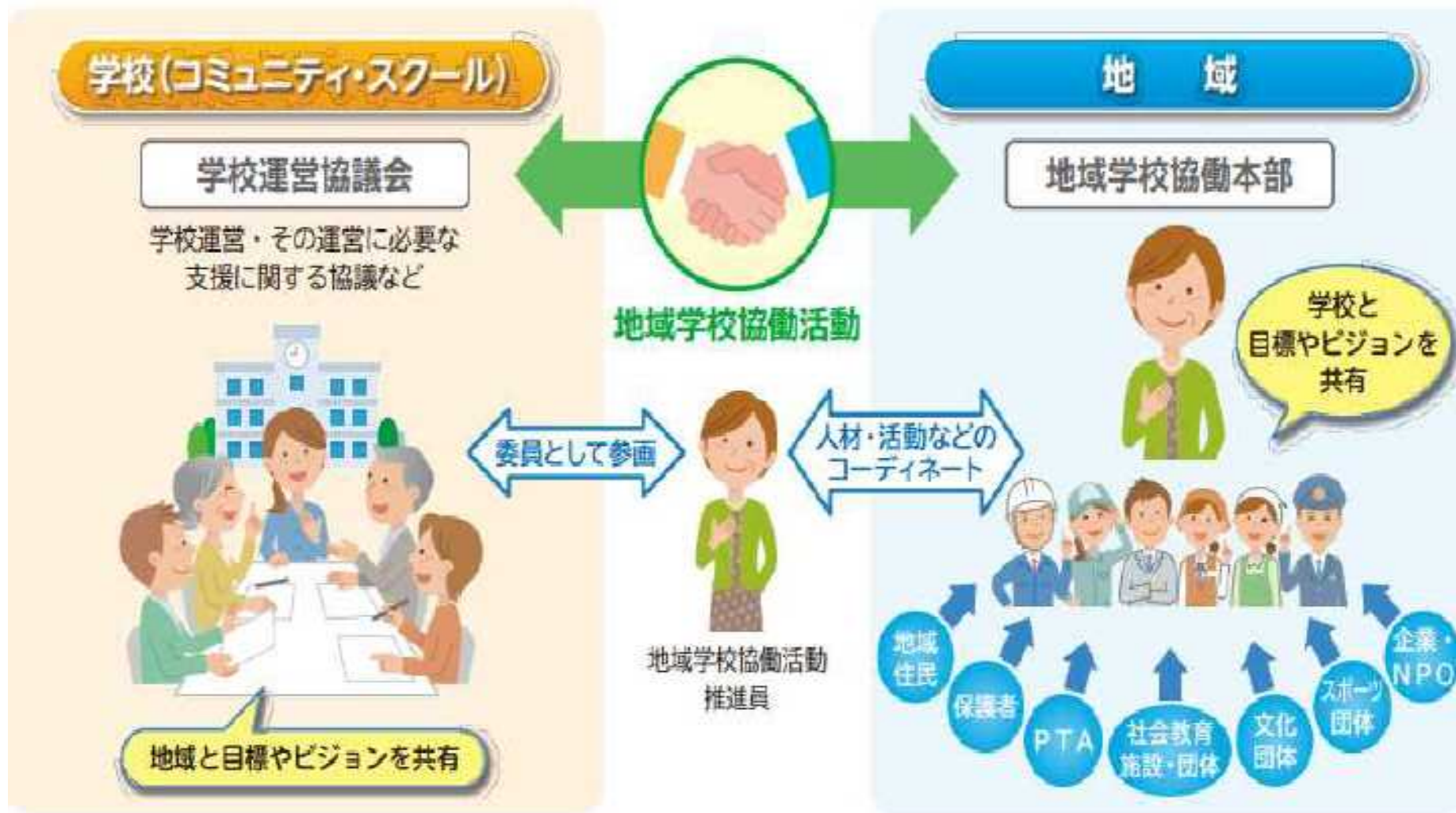


地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- 地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

コミュニティ・スクールは 学校運営協議会と地域学校協働活動の両輪で!!



参考 『名護市コミュニティ・スクール』 沖縄県名護市教育委員会学校教育課

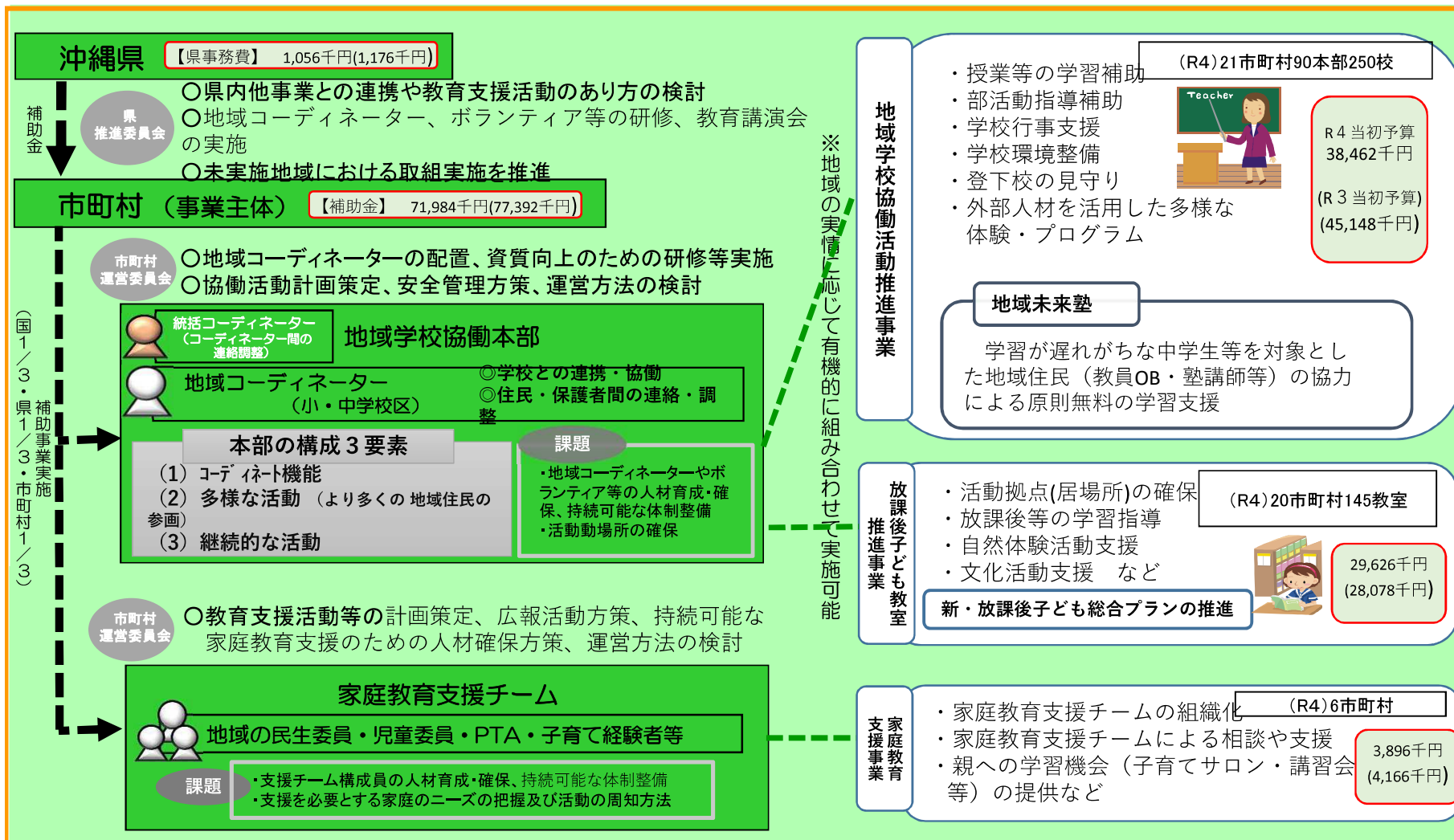
沖縄県学校・家庭・地域の連携協力推進事業

【補助率】	
国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

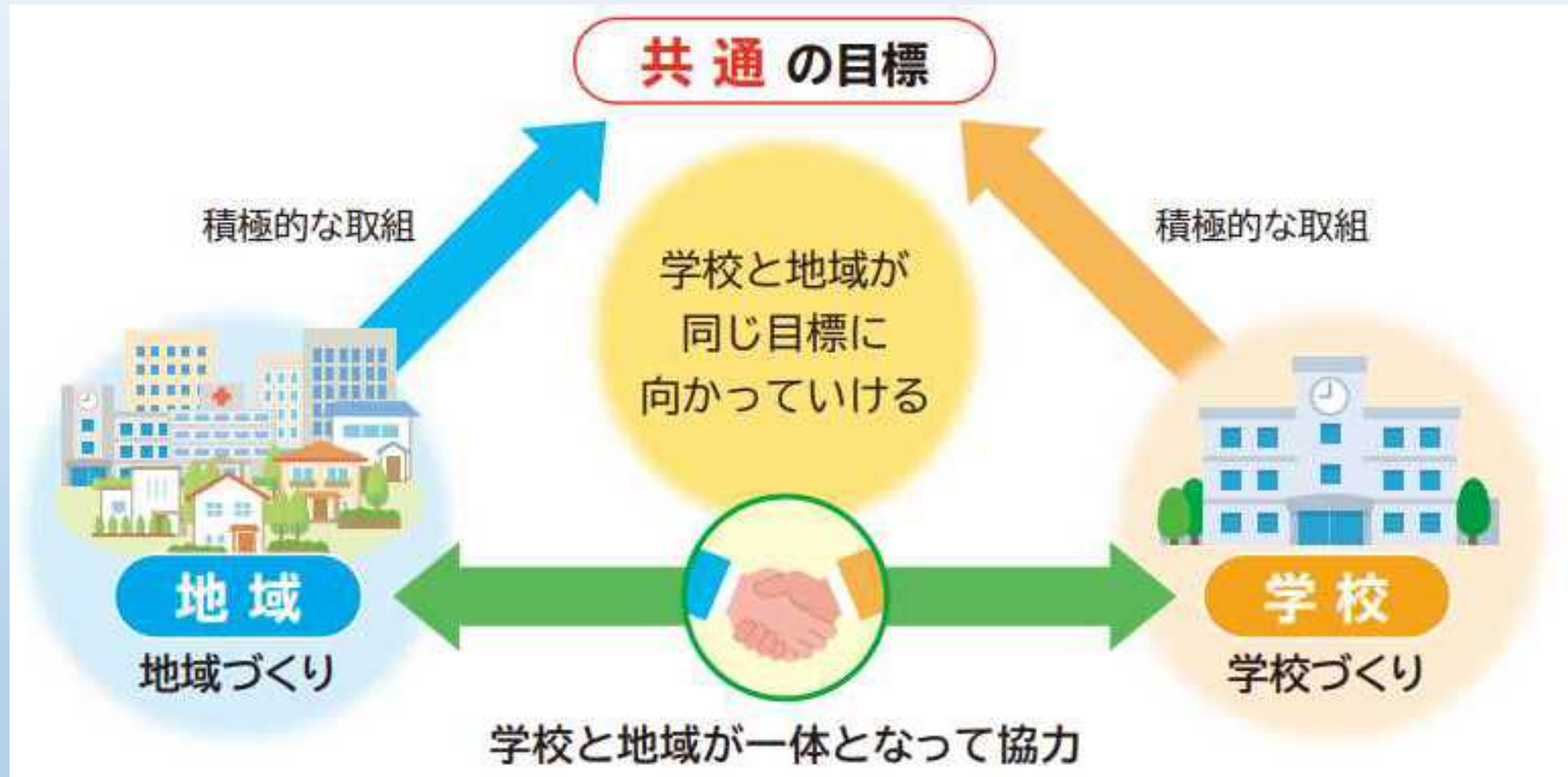
令和4年度当初予算額 73,040千円
(令和3年度当初予算 78,568千円)

近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを進める必要がある。

そのため、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく様々な活動を推進するため、地域と学校をつなぐコーディネーターが中心となり、地域住民や豊富な社会経験を持つ外部人材等の協力を得て、地域学校協働活動、放課後子ども教室、家庭教育支援などの取組を通じて社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。



学校と地域がパートナーとなることで…



参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

学校と地域がパートナーとなることで…

保護者・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感をもち、積極的に子供の教育に携わるようになる。

- 近所に元気のない様子の子供がいても、なかなか声をかけることができない
- 子供のマナーについて学校へ苦情の電話



- 積極的な声掛けや自ら指導する機会が増える
- 学校任せではなく、地域が学校とともに対策を考える

保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、生きがいにつながり、子供たちの学びや体験が充実。

- 自分の経験を生かして学校や子供のサポートをしたいが、迷惑にならないか
- 地域の人と関わる機会が減ってきている
- 地域人材を活用した学習が単発で終わってしまう



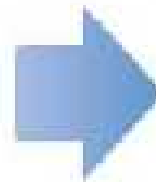
- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現する
- 学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になる
- 地域の創意工夫や特性を生かすことで、学校での学びがより豊かで広がりを持つようになる

参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

学校と地域がパートナーとなることで…

保護者・地域住民等と学校が“顔が見える”関係となり、
保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現。

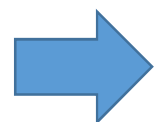
- 一方的な意見が数多く学校に寄せられる
- 学校が保護者や地域住民の様々な要望の対応に追われている



- 学校の現状や方針への理解が深まり、地域が学校の応援団になる
- 地域の協力により教職員が子供と向き合う時間が増える

その他にも…

学校と地域の協力体制が築かれることで、生徒指導、防犯、防災等の面でも
課題解決に向けて効果が期待されます。



学校における働き方改革にもつながる

参考 『これからの学校と地域』 文部科学省

学校と地域がパートナーとなることで…

地域学校協働活動ハンドブック:文部科学省

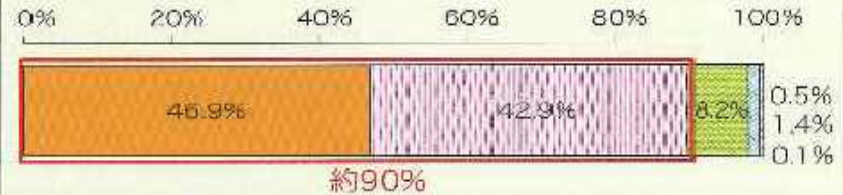
地域学校協働活動 》子供たちにとっていいこと

子供たちへの効果

◆実際に本部事業に参加してみて、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、コミュニケーション能力の向上につながった。



◆実際に本部事業に参加してみて、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、地域への理解・関心が深まった。



■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ まったくそう思わない ■ 無回答

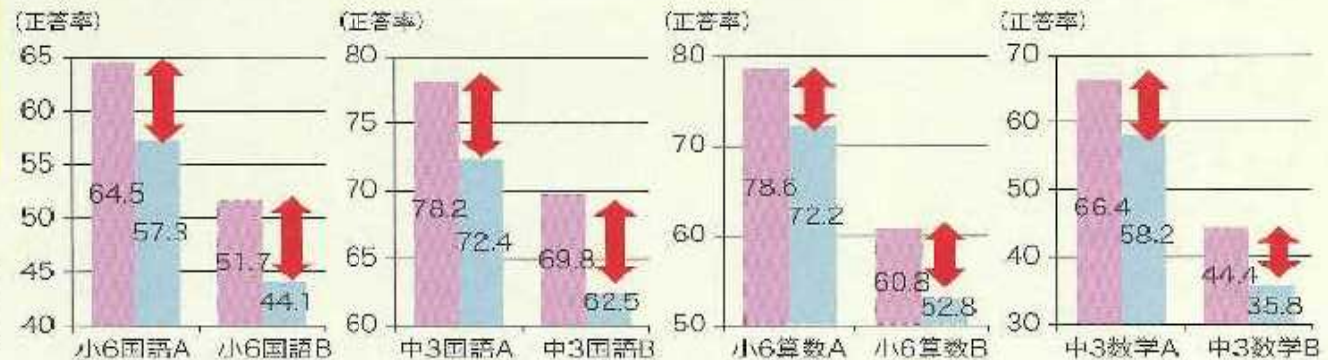
(「平成27年度地域学校協働活動に関するアンケート調査」文部科学省・国立教育政策研究所。上記は学校を対象とする調査結果。)

◆保護者や地域住民の学校支援ボランティア活動が進んでいる学校ほど学力が高い。

「地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多いと思うか」への回答と学力テストの正答率

■ そう思う ■ そう思わない

(「平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)」の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」国立大学法人お茶の水女子大学 平成26年3月)



『地域に開かれた学校』から 『地域とともにある学校』へ

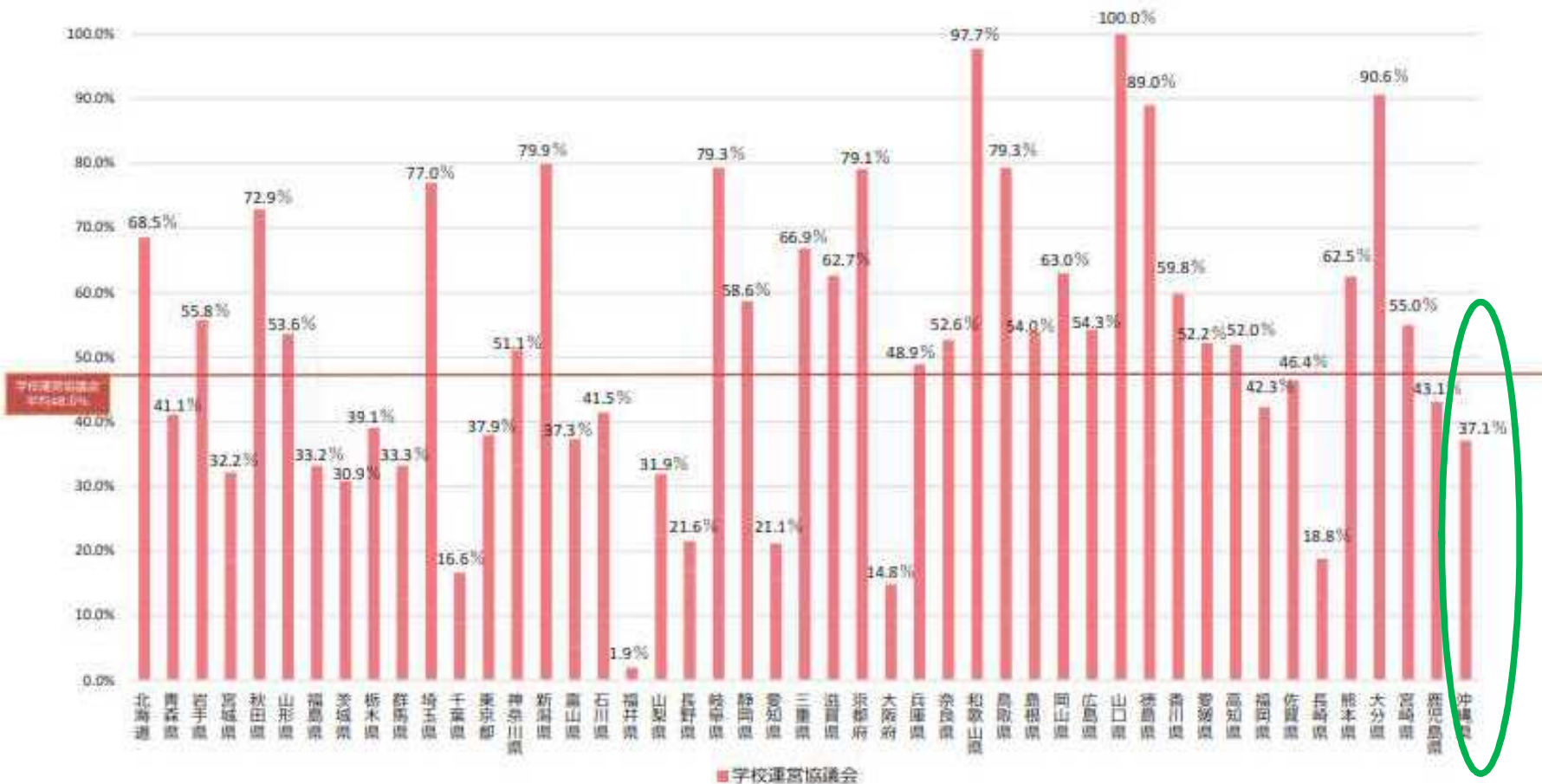


コミュニティ・スクール導入率

コミュニティ・スクールの導入率（都道府県別・小中義務教育学校）

コミュニティ・スクールを導入している公立小・中・義務教育学校数 : 13,519校（小学校：9,121、中学校：4,287、義務教育学校：111）

沖縄県 37.1%

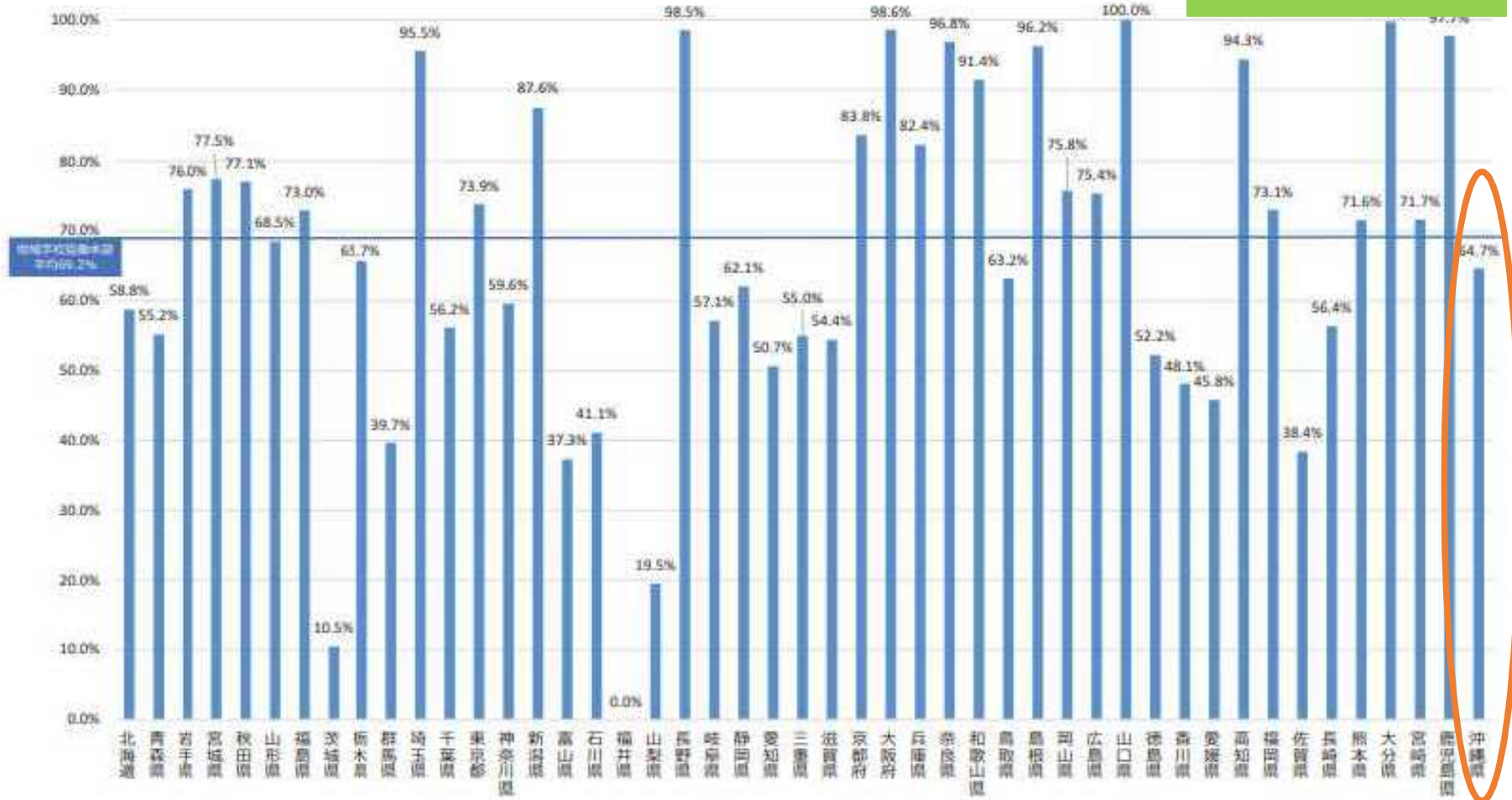


地域学校協働本部の整備率

地域学校協働本部の整備率（都道府県別・小中義務教育学校）

地域学校協働本部が整備されている公立小・中・義務教育学校数：19,256校（小学校：13,160、中学校：5,976、義務教育学校：120）

沖縄県 64.7%



Facebook ページ「やまぐちCSプロモーション」の開設

◀ 🔍 やまぐちCSプロモーション

和木町立和木小学校



やまぐち CS プロモーション

2022年12月7日

#和木町立和木小学校 #コロナ禍でも持続可能な取組

「先輩と一緒に通学路点検！」

～小学生と中学生が協力して安心安全な登下校をめざします～

【ウィズコロナ下での工夫】

通学路点検ということで、外での活動となりました。

新型コロナウイルス感染症の予防という面で、屋内ではなく屋外での活動を行うようにしました。集団下校とはいいながらも、班別で下校するため、密になることはなく、また中学生がいるため統制が取れ、いろいろな意味で安全に活動できました。

【連携・協働のポイント】

小中学校の各担当者同士の打ち合わせを密に行い、計画やスケジュール調整、人員調整を行いました。動画撮影後は、中学校が編集・KYT教材の作成を担い、小学校ではそれを使用して活動をする予定にしています。また、取組やねらい等について、各校の学校運営協議会や「和木町通学路安全推進会議」で報告し、今後の取組に向けた御意見をいただくことができました。

【取組内容】

7月13日（水曜日）、和木小学校の集団下校時に、全校児童と和木中学校の2年生、スクールガード、教職員で通学路等の安全点検を行いました。危険箇所（交通、防犯）をみんなで確認し、6年生や中学生が持参したタブレット端末で危険な様子を撮影しました。今後、6年生が中心となって、和木町の安全マップを作成したり、中学生がKYT（危険予測トレーニング）学習の和木町版資料を新たに作成したり、小学生がその資料を使って学習したりするなどの活動を予定しています。

【取組の目的・ねらい】

児童生徒が自らの命を守り抜く「主体的に行動する態度」の育成や家庭・地域住民へも安全教育の意識の向上を図ることが主なねらいです。また、和木町の危険箇所を洗い出したり、各地区や周辺地区の危険箇所を共通理解したりするなど、安全に生活できるようにすることも目的としています。

【学校側の成果】

児童は、中学生からのアドバイスを受けて自分たちの通学路の安全を見直すことなど、改めて交通安全、防災意識の向上につながりました。多くの大人に守られている子どもたちが、自らも安全に過ごす方法を考えて実践していくよい機会となりました。また教員間では、連携を通して協働の手立てやアイデアが生まれ、当事者意識の構築につながりました。

【地域側の成果】

地域が児童生徒の取組を知ることにもつながり、交通安全だけでなく、防犯や防災の観点も含めた通学路の安全について考えることができました。



コミュニティ・スクールに参画することで

- ・地域に見守られている安心感が生まれます。
- ・多様な人材や価値観に触れることができます。
- ・落ち着き・自己肯定感が芽生えます。
- ・地域住民との交流が生まれます。
- ・体験活動や見守り活動が充実します。

- ・地域人材を活用した教育活動が充実し、授業の狙いが効果的に達成できます。
- ・地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- ・地域の協力により子どもたちと向き合う時間の確保につながります。

子どもたち

教職員

保護者

地域の人



- ・子どもたちが地域の中で育てられているという安心感が生まれます。
- ・学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- ・保護者同士や地域の人々との人間関係の構築につながります。

- ・地域づくりの担い手が育ちます。
- ・地域の課題解決のきっかけになります。
- ・子どもたちとの間に信頼感が生まれます。
- ・地域住民同志の交流が深まります。
- ・有用感や生きがいづくりにつながります。

参考 『名護市コミュニティ・スクール』 沖縄県名護市教育委員会学校教育課

地域の
みらいのために



子どもたちの
みらいのために

ご静聴 ありがとうございました



参考 『名護市コミュニティ・スクール』 沖縄県名護市教育委員会学校教育課